

2018年度(平成30年度)入試から

AO入試 PASCAL 導入!

Performance Assessment of Students' Competency for Active Learning

創価大学では、2018年度(平成30年度)入試から、AO方式による新しい入学試験「**PASCAL (パスカル) 入試**」を導入します。

この入試では創価大学への入学を強く希望する受験生を求めます。そして、大学入学後の学びを視野に入れ、アクティブラーニングの一手法であるLTD (*Learning Through Discussion*)を採り入れたグループワーク、小論文、面接を実施し、受験生の表現力、主体性、協働性などを総合的・多面的に評価します。

導入年度

2018年度(平成30年度)入試から導入。入試は2017年度に実施します。

導入学部・募集人員

学部学科	募集人員	学部学科	募集人員
経済学部経済学科	16人	教育学部教育学科	6人
経営学部経営学科	16人	教育学部児童教育学科	8人
法学部法律学科	20人	看護学部看護学科	6人
文学部人間学科	28人	PASCAL 入試(合計)	100人

※理工学部と国際教養学部は実施しません。

出願資格

以下の条件をすべて満たすこと。

- ① 本学への強い入学意思を持ち、本学を第一志望とする者
- ② 高等学校または中等教育学校を卒業見込みの者または卒業後1年以内の者。もしくは高等専門学校第3学年を修了見込みの者または第3学年修了後1年以内の者
- ③ 高等学校等の全体の評定平均値が3.5以上の者
- ④ 各学部が定める資格等を満たす者(資格等の詳細は今後発表)

入試実施日程

①出願期間	2017年8月下旬～9月上旬(予定)
②第一次選考結果発表	2017年9月下旬(予定)
③第二次選考実施日	2017年10月中旬(予定)
④合格発表日	2017年10月下旬(予定)

選考方法

<第一次選考> 以下の①～③を審査し、第一次選考合格者 240名(予定)を決定します。

①調査書 ②自己推薦書(800字程度予定) ③出願資格等充足を証明する書類

<第二次選考> 以下の①～③に第一次選考結果を加えた総合評価で合格者を決定します。

①LTD方式のグループワーク ②小論文(1,000～1,200字予定) ③面接

第二次選考の流れ

①第一次選考合格者には、「予習教材」を提示し、「予習ノート」(フォーマット)と「LTDガイダンス映像」を配信します。

②第一次選考合格者は、「LTDガイダンス映像」を参考に、「予習教材」を学習します。そしてフォーマットに則って「予習ノート」を作成し、第二次選考当日持参します。

③第二次選考当日 ※LTD、小論文、面接の実施順は学部により異なります。

- ・L T D 6人一組となりLTDを行います(55分)。予習ノート持込可
- ・小論文 予習教材と関連のあるテーマを当日出題します(45分)。
- ・面接 一人15分～20分の個別面接を行います。面接員は3名予定。

LTD(Learning Through Discussion)とは

アクティブラーニング(*1)の一手法。LTDは「話し合い学習法」とも言われ、主体的で能動的な学びを実現する、協同を基盤とした実践的な学習法です。LTDは予習とミーティング(話し合い)で構成されています。予習では予め示された予習教材を一人で学び、予習ノートを作成します。ミーティングでは予習ノートを手がかりにグループの仲間と話し合い、予習教材への理解を深めます。

*1 教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。(平成24年8月 中央教育審議会答申「用語集」から抜粋)

2017年オープンキャンパスにおけるLTD体験企画

2017年に開催するオープンキャンパスで、PASCAL入試に準じたLTD方式のグループワークを体験する企画を実施します。

各回、事前申込制で30名程度を予定。10月の入試に準じたオープンキャンパス用の予習教材と予習ノート(フォーマット)、LTDガイダンス映像を事前にホームページに掲出します。参加者は予習教材に取り組み、予習ノートを持参して、当日の企画に参加します。詳細は2017年2月以降公表します。

※この情報はあくまで2016年10月1日現在のもので、今後変更する場合があります。